



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 FAX 045-571-3834

会長就任のご挨拶

横浜スペイン協会 会長 下山利明

この度、山崎宗城前会長の後任として横浜スペイン協会の3代目会長を拝命致しました。微力ながら更なる協会の発展に努めて行く所存でございます。

昨年、横浜スペイン協会は創立25周年を迎えました。1つの節目として4つの大きなイベントを企画し、会員を始めとして多くの方々に参加を頂き、成功裏に終了することが出来ました。現在約100名の会員が在籍しておりますが、昨今、当協会を取り巻く環境や人々の考え方の多様化により、価値観が大きく変化してきている様に感じております。また直近の課題と致しまして、高齢化に伴う会員数の減少を補うべく、若い世代の新会員の勧誘に努めております。新たに会員になられた方も多くおられますので、ここで25年前に当協会を設立した亡き父の思いを記した設立趣旨について触れたいと思います。

(目的) 協会は、スペイン国に深い関心と理解を持つ者が集い、会員相互の親睦を図るとともに、スペインとの文化交流の促進に努め、日本とスペイン両国間の伝統的な友好親善関係に寄与する。

(事業) 協会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① 桜の苗木をスペイン国に植樹し、スペインとの文化交流の促進を図る。
- ② 会員相互の交流及び親睦を図る。
- ③ スペインとの文化及び人的交流に関する啓発、支援など諸種の会を企画、開催する。
- ④ 国際的な文化及び人的交流に関する諸種の行事に参加する。
- ⑤ その他、協会の目的を達成させるために必要な事業を行う。

今後の活動の指針として、ベースとなる設立趣旨を尊重踏襲しつつ、時代の変化に則した形で新役員体制下、スマートかつスピーディーに協会の運営を進めて参ります。既に総会の時にお話しましたが、本年度の事業計画の主な柱は ①スペイン語教室の拡充 ②国内外の人的交流の推進 ③国内各地のスペイン協会との交流 ④スペインでの桜植樹活動 であります。盛り沢山の内容ではありますが、スペインを心から愛する情熱的なアミーゴの集団である当協会に於いて、皆さまと楽しく充実した活動が展開出来ると大いに期待をしています。

今後とも当協会に対する皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げる次第です。簡単ではございますが会長就任のご挨拶とさせていただきます。

《総会の報告》

2016年度定時総会議事録

日 時 : 2016年5月15日(日) 12:30 ~ 13:40
場 所 : 県民活動サポートセンター1503号室
出席人数 : 20名
議 長 : 山崎宗城会長
議 案 : 総会に先立ち、同日 AM11:00 より開催された理事会において「2016年度定時総会議案書」が承認された。



[議案]

1. 第1号議案 2015年度事業報告について
2. 第2号議案 (1)2015年度会計決算報告について
(2)監査報告
3. 第3号議案 2016年度事業計画(案)について
4. 第4号議案 2016年度会計収支予算(案)について

[議事]

1. 石井事務局長の司会で開催、まず山崎会長より挨拶があった。あわせ役員改選の年度に当たり、役員選出の経緯及び新役員の紹介が行われた。
2. 協会規約10条(2)に則り山崎前会長が議長の座に着き、第1号議案が石井事務局長より説明があった。引き続き、第2号議案(1)について、石井事務局長より説明があり、この後同議案(2)「監査報告」は、角井監査員(臼井監査員は都合により欠席)から2015年度会計処理は適正に執行された旨の報告が行われた。
3. 第3号議案について下山新会長より説明があり、各担当理事が補足説明を行った。第4号議案は下山新会長より説明があった。各議案につき衆議を諮ったところ、出席者全員の賛同を得て可決された。その他特に提案はなく、定時総会は13時40分議長が閉会を告げて終了した。

総会ご出席の方には議案書は既にお渡ししてあります。

ご入用の方は下記メールアドレスにてご連絡ください。E-mail: info@yokohama-spain.jp

《新役員体制》

- | | | | | | | | |
|-------|------|---|-----------|-------|------|---|-----------|
| 1. 会長 | 下山利明 | 再 | 広報担当 | 5. 理事 | 福長昭代 | 再 | スペイン語教室担当 |
| 2. 理事 | 臼井慎一 | 再 | 総務担当 | 6. 理事 | 服部君江 | 新 | スペインサロン担当 |
| 3. 理事 | 武菱邦夫 | 再 | 渉外・イベント担当 | 7. 監事 | 大戸正彦 | 新 | |
| 4. 理事 | 古賀恵子 | 再 | 会計担当 | 8. 監事 | 下山綾子 | 新 | |

以上

2016 年度 事業計画（案）について

基本方針

スペイン国に深い関心を持つ者が集い、会員相互の親睦をはかりつつスペイン文化の普及と友好親善関係の向上に貢献する。

1. スペイン語教室の拡充
2. スペインサロン・サークル活動の更なる活性化
3. 国内外の人的交流の積極的推進
4. 広報活動の充実
5. 新役員による体制作り（効率的な組織運営）

スペイン語教室 方針（福長）

1. 基礎から実用的な講座まで特色のあるカリキュラムを核にクラスを一層充実させる
2. 夏期スペイン語圏文化講座の開催
3. H/P を活用し外部からの受講者の増加を図る

スペイン・サロン 方針（服部）

1. 講演会の開催（スペイン文化関連）
2. スペインワイン・チーズ・シェリー勉強会開催
3. 料理教室開催

渉外・イベント担当 方針（武菱）

1. 国際交流の充実（大使館との積極的交流・訪日ゲスト対応・桜植樹準備）
2. 地方のスペイン協会との積極的な交流
3. 新年会の開催及び大使館イベントの開催

総務・会計 担当 方針（臼井・古賀）

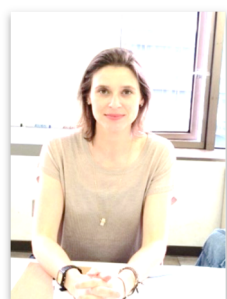
1. 会長及び各担当の役割を明確にし新体制を安定させる
2. 適切な予算の執行と管理
3. 法人化の調査と検討

広報 方針（下山）

1. AIYES 通信 4 回/年 発行
2. H/P のコンテンツ充実 タイムリーな情報の更新
3. H/P の認識度の向上（アクセス分析・宣伝・紹介等）

●スペイン語クラス

4 月 4 日から 2016 年度前期講座が始まりました。今期からスペイン人 2 講師が交代しましたので今回は新講師のご紹介をいたします。



● **Carmen Belén García Bernal** 講師（月曜日・カメラアクラス担当）

スペイン国、ムルシアご出身。外国人にスペイン語を指導する仕事で 15 年以上の経験をお持ちの明朗闊達なベテラン講師です。クラスはいつも熱気に溢れ受講生の学習意欲を掻き立たせて下さいます。当協会がスペイン語とその文化の普及活動また人的交流に努めていることに感謝の意を表しますとエールを送って下さいます。ご趣味は読書、ご家族とアウトドアライフを楽しみ、日本での生活をエンジョイされています。



・ **Begoña González Afuera** 講師 (水曜日・ビオレッタクラス担当)

スペイン国、マドリッドご出身。ご専門は考古学で、Celta で発掘作業に携わった経験もおありで、その後リオハ大学で外国語としてのスペイン語、外国人にスペイン語を指導する勉強をされた講師です。ソフトで明るく笑顔を絶やさない講師のクラスは和気藹々と進められています。来日4年目で、初めは文化の違いに戸惑いを覚えたが今はその違いを楽しんでいると言われます。ご趣味は料理。今はスペイン料理よりも多国籍料理を作られることが多いそうです。

(福長昭代)

＊ 夏期スペイン語クラス文化講座のお知らせ

7月27日から8月24日までお盆休みをはさみ 前半3回後半3回計6回の講座を開講いたします。スペイン人3講師によるバラエティに富んだテーマの講座です。詳細はホームページに掲載されておりますのでご興味のある方は是非ご覧ください。どなたでも参加できます！



JALT 年次国際大会での発表報告

「新聞・雑誌を読む会」を紹介

少々遅ればせではありますが、昨年11月22日に静岡県コンベンションセンターで開催されたJALT 国際年次大会において、私が担当しております「新聞・雑誌を読む会」について発表致しましたので、そのご報告をしたいと思います。

まずJALTとは？正式名はThe Japan Association for Language Teaching (全国語学教育学会)で、会員数は約3000人。会員は主に日本在住の英語を母語とする先生方で、英語が共通語の学会です。その中にスペイン語・ドイツ語等々の分科会があり、そのスペイン語分科会での発表でした。

では何故そのような場所に赴いたのでしょうか？「新聞」クラスでは、年二回ネイティブの先生をお招きして特別授業を開催しておりますが、2015年1月にはCecilia Silva先生(東北大学)にお話しいただきました。普段大学生と接触なさっている先生にとって、我々年配の会員が熱心にスペイン語を学び、先生のスペイン語での講演を理解できる、ということに大変感銘されたようでした。分科会のコーディネイターである先生は、今回のメインテーマ「学習者に焦点をあてて」のもと、「新聞」クラスを紹介することは大変意義あることと考えられ、私に発表依頼が来ました。

さて本番ですが、分科会での公用語はスペイン語、聴衆はおおよそ10人でした。クラスで事前に行ったアンケートに基づき、『飽くなき探究としてのスペイン語学習』という題で、クラスの様子を会場の皆さんにお伝えしました。まずクラスの集合写真がスクリーンに映し出されると、参加者から「オー!!!」という感嘆の声。生徒の皆さんの年齢ゆえでしょうか？教材の一覧表が映し出されると、又「オー!!!」と感嘆の声。易しくはない教材だからでしょうか？というのも私以外の3名の発表内容は、いかに大学生に基本単語を覚えさせるか、いかに読解力をつけるか、といったもの



でした。ですから私の発表全般を通して、皆さんの感嘆の声が会場に響き渡ったのも、ご想像いただけると思います。

本年4月から20年目を迎える「新聞」クラスでの経験を通し、今回の発表で私が皆さんにお伝えしたかったことは、以下のことです。受講者が積極的に学習を進めるためには、1) 年齢に関係なく知的好奇心を満たす学習対象を持つこと。2) 授業形態は、一方的に教授するのではなく、受講者が自由に意見を発表・交換する場とすること。それによりスペイン語学習を通して、スペイン語圏諸国への興味と好奇心が、人生を豊かにすることができるから。

当日は当たり前のことを発表しただけなのですが、反応は予想をはるかに超えていました。この記事を読まれる皆さん、特にAIYESでスペイン語を学ばれている皆さんはどう感じられますか？

(栗山由美子)

●スペイン・サロン

～～ 大戸尚美「チーズとワインでスペインを楽しむ」に参加して ～～

2016. 04. 23 横浜技能文化会館

初めに「チーズとワインでスペインを楽しむ」について、私は友人達とのお酒とつまみを楽しむ飲み会の感じで参加しました。会場は、日頃は研修室として使われている場所でしたが、スタッフの皆さんによりサロンらしい



雰囲気、華やいだ雰囲気の中で始まりました。はじめに、ソムリエ大戸尚美様からスペインワインの豊富な多様性は、スペイン各地の多様な気候風土に根差しているという大変興味深い

解説に続き、いよいよ数種類のワインの試飲が行われその香りや飲み口を皆さんで味わいました。まさに日本酒の利き酒のような感じで楽しみました。続いてワインのお供のチーズについては、チーズは牛乳から作るものと思い込んでいた浅学な私にとって

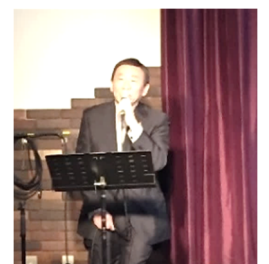


は、チーズの原料が牛、羊、山羊の乳やそれらの混乳製品など様々あることを知った次第です。酪農の形が様々であることもスペインの各地の気候・地勢の多様性によることとのことでした。この後は皆さんで各種のチーズを楽しみながら、お気に入りのワインをいただく大変楽しい時を過ごしました。(武菱 邦夫)

～～ 伊藤誠「いのちの輝き」に参加して ～～

2016. 6. 11 波止場会館 1F Seaside Lounge Sala

6月11日(土)、波止場会館で伊藤誠さんの講演会と歌の会が開かれました。前半ではシンガーソングライターとしての人生、スペインとの関わり、マドリッド音頭誕生の経緯、人生観、音楽家としての使命感が穏やかに語られました。マドリッド音頭は20年以上今や2000人の人々が集まり9割がスペイン人で盆踊りに踊られているという。支倉常長以来の日西交流の歴史を刻むだろうと思



わせました。後半は魂に語りかけるような詞と曲の5曲とマドリッド音頭が披露されました。ハプニングは「さくら」を歌っている氏目から涙があふれたことでした。別れと再会を願う歌で思い出の涙かと思ったら、ロンダの桜に思いを馳せてあふれた涙とおっしゃって、氏の人への思いの深さと感受性に感動し歌の人気の秘密に触れた思いがしました。(中村瑛子)



●サークル「Club 2020」

屋外活動「横浜観光案内」

2020年の東京オリンピックに照準を定め、「その頃までに通訳ボランティアをできるスペイン語を身につけたい！」を目標に、月に一度のサークルClub2020が立ち上がり、早や1年半が経過しました。いつしか所帯も大きくなり、参加者もすっかり顔なじみとなりました。

5月10日(火)、この日は座学から離れ、Club2020初めての試みとして屋外活動を行いました。大雨の予想も外れ、暑からず寒からず、散策にはもってこいの薄曇りの空模様。参加を予定していた25名全員(講師含む)が集まりました。普段の会話練習は初級チームと上級チームに分かれて行いますが、今回の課外活動に向けては、予めレベルを平均化したグループを4つ作り、各々で話し合っ行って行き先や説明分担を決めました。

10時30分、いよいよ散策開始です。各グループの行き先は、①「横浜3塔とゾウの鼻、大栈橋」、②「横浜発祥地巡り(ガス灯、赤い靴はいた女の子、西洋理髪発祥の地、日米和親条約締結の地、ホテル発祥の地、日本における新聞誕生の地)」、③「中華街の歴史(関帝廟、媽祖廟、横浜大世界、横浜博覧館)」、④「中華街、大栈橋、マリンタワー、外人墓地」と盛りだくさんです。

スペイン語で道案内をしながら、各自が1ヶ月かけて準備した資料を基に、スペイン語で担当箇所の説明を行いました。講師からの注意事項として「ガイドブックを読めばわかる話はしない」を提案しました。というのもこれまでの経験上、旅行者は事前に、あるいはその場で、ガイドブックなどの説明を読まれることが多いからです。ガイドブックに書かれていない地元にいるからこそ知っていること、たとえ些細なことでも、そんな情報が観光をより楽しく豊かな経験にしてくれます。

私は中華街散策のグループに同行し、横浜生活13年目にして初めて「横浜をもっと知りたい」



と思いました。なぜ中国人が開港とともにやって来たのか、なぜそこに中華街ができたのか、なぜ中華街だけ周りとは違う区画割になっているのか。みなさんご存知ですか?

12時30分、横浜中華街の大新園に集まり、反省会とは名ばかりの昼食会を行いました。心地よい疲れにお昼からのアルコールも手伝い、関帝廟の階段にて上機嫌で集合写真撮影ののち、お開きとなりました。

6月の例会では、全員に担当箇所の説明内容を発表して頂く予定ですが、今回の経験は参加者にとってもClub2020にとっても、大きな一歩になったと思います。(山田るり子)

●国際交流活動

トペご夫妻来日・鎌倉観光と親睦会

6月3日、スペインより初来日されたトペご夫妻を、協会員有志で鎌倉にご案内しました。トペさんはワイン造り、レストラン、ホテルを経営する実業家。仕事の傍ら未来の子ども達のために「教育の森」と名付けた土地で植樹活動を続けています。昨年スペイン協会ではこの地で桜植樹を行い、トペさん自前のワインの饗応を受けました。

鎌倉では円覚寺、東慶寺、八幡宮、大仏など自然と融合した寺社がとても気に入ったようで、滞在中に自身もシントイスタになったとおっしゃっていました。彼の目指す事業の理念と目のあたりにした寺社の佇まいとの間に、何らかの共通点を見出されたのかもしれませんが。昼食（和食）は余すところなく召し上がり、日本酒がたいそうお気に召したご様子でした。



鎌倉観光の後、一行は横浜中華街へ。昨年の桜植樹に参加した面々と再会、夕食をとりながら終始笑いの渦の中、旧交を温めながら楽しい時間を過ごしました。

最後に、案内役をお引き受け下さった問屋さんに感謝を。(服部君江)



●国内交流活動

第18回日本・スペイン・シンポジウム

去る4月14日～16日、静岡市の日本平ホテルに於いて「第18回日本・スペイン・シンポジウム」が開催されました。静岡市は徳川家康公のゆかりの地であり、17世紀以降400年以上のスペインとの歴史的関係を有する地です。日本側座長は横山進一住友生命名誉顧問、スペイン側座長はジョゼップ・ピケ西日財団理事長（元外務大臣）でした。スペインからはカルメン・ベラ科学技術・イノベーション担当長官、イグナシオ・イバニェス外交長官を筆頭に駐日スペイン大使も含め約50名の参加者、日本側からは山田美紀外務大臣政務官を筆頭に外務省、観光庁、国土交通省、名誉領事館、和歌山・山口・香川県代表、スペイン協会、商社、大学、静岡県の各団体の約230名の参加者でした。今回のテーマは「経済成長、高齢化社会と地方創生：日西の展望」、終日テーマ発表と討論による実りあるシンポジウムでした。横浜スペイン協会からは前会長の山崎宗城、前理事の桜田ゆみが出席しました。



次回は会場をスペイン国・マラガ市に於いて開催されます。(山崎宗城)

●シネマサロン

「マジカル・ガール」-Magical Girl 監督 Carlos Vermut 2014, スペイン



「愛が運命を狂わせる！ その速度、マジカル級！ フィルム・ノワールの新たな傑作の誕生！」とあった宣伝文の通り、日本のアニメ「魔法少女ユキコ」に夢中になっている少女・アリシアとその父親・ルイスから悲劇が始まる。

アリシアはアニメの中でユキコが着ているコスチュームが大好きで、それを着て踊りたいという白血病を病む女の子。失業中の教師ルイスは娘の夢をかなえてあげようと、偶然知り合った女・バルバラを脅迫してお金をせびる。彼女は心に闇を抱えているようで、薬を大量に飲むシーンもあり、お金を作るため「黒蜥蜴」がドアの上に描かれている部屋に入る。この部屋はその後車椅子

で現れる富豪の男の欲望のためのものとわかるが、不穏な雰囲気だけが帰りの車中のバルバラの表情でわかる。命を危険にさらして脅迫に応えるバルバラは、精神科医の夫や昔彼女と何か関わりがあったと思われる元教師・ダミアンをも巻き込んでしまう。しかしルイスは魔法のステッキを買うために再度バルバラを脅迫する。その結果、彼女は全身に包帯を巻かれ目だけが苦しさを訴えている姿で病院のベッドに横たわっている。ルイスは娘の望みを実現できると喜ぶが、バルバラを見舞ったダミアンは、彼女のために昔の悪友の助けを借りて銃を手に入れ、ルイスを探し出し殺してしまう。アリシアはそれも知らず、お気に入りのコスチューム姿で魔法のステッキを振りかざして無邪気に踊り続ける。長山洋子のデビュー曲・「春はSA-RA SA-RA」が使われ、エンドクレジットには美輪明宏の「黒蜥蜴の唱」が延々と流れる。これらの日本語の歌は唯一、そして奇妙にもこの暗く残酷な映画に彩りを添えて、見る者を不思議な世界へ誘い込む仕掛けのように働いている。

監督自身が日本の漫画・アニメ・映画をこよなく愛していて、この映画の脚本執筆中に「魔法少女 まどか☆マギカ」にはまっていたとか・・・。

余談ですが、フランスの建築家・ル・コルビュジエ設計による上野の「国立西洋美術館」が世界遺産に選ばれることになりそうですが、アルゼンチン映画・「ル・コルビュジエの家」-2012、には、ブエノスアイレス州・ラプラタにあるクルチュット邸で繰り広げられるシュールな笑いとお話がありました。(松本益代)

●会員の活動報告

多島眞須美さん 大使館に絵画を寄贈



ちょっと古いニュースですが、会員の多島眞須美さんの100号の油彩「トレドの風景」が1月27日にスペイン大使館に寄贈され、ゴンサロ・デ・ベニート・セカデス駐日スペイン大使、サンティアゴ・エレロ・アミーゴ文化参事官出席のもと大使執務室で引き渡しがありました。大使は兵役当時、トレドに駐留した思い出もあり、懐かしいと言っておられました。

西澤安澄さん 「スペインから日本へ こころの旅～グラナドスから宮沢賢治へ～」

3月24日にグラナドスの100回目の命日に合わせて、この日渋谷の白寿ホールで会員の西澤安澄さんのコンサートが開かれました。俳優の榎木孝明さん朗読の宮沢賢治の銀河鉄道を合わせて、幻想的な世界へと誘われ不思議な時間を過ごして参りました。彼女の情熱的なピアノと榎木氏の声が不思議にマッチして、心地よくなってしまいました。ここ白寿ホールは、リクライニングシートが有名で、ゆったりとした素敵な空間です。安澄さんのユニークな活動は7月8日に豊洲シビックセンターホールにて「ダダ・ピアノミュージック」演奏会があります。6月からはしばらく淡路島に活動の拠点を移し、淡路を音楽の島にする企画に参加されるとのことです。横浜とは少し離れてしましますが、今後のご活躍を応援していきたいです。残念ですが、毎号スペインの香りを運んでくれた「スペイン便り」は暫くお休みになります。(下山綾子)



高木洋子さん 「ギターとピアノの世界 クエンカ兄弟を迎えて」

2016.3.26 横浜市栄区民文化センターリリスホール

高木洋子さんのピアノコンサートへ、私自身、前下山貞明会長の時代から毎年出かけてきました。クエンカ兄弟との共演にも招待されたことがあります。回数の多さではセビージャ出身のギタリストのマリア・エステル・グスマンを招いて高木さんのピアノとの共演のコンサートが多かったと思います。高木さんは3歳からピアノをはじめ、10歳から4年間ブラジルのサンパウロで過ごした



後帰国し、北鎌倉女子学園高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を卒業。96年よりスペインに留学しピアノを多くの音楽家に師事し、帰国後はスペインと中南米音楽を主に音楽活動を続けています。今回のコンサートの目玉はギターとピアノのデュエットで息の合った素晴らしい演奏を聞かせるコルドバ出身のフランシスコ・クエンカ（ギター）と兄のホセ・マヌエル・クエンカ（ピアノ）のデュオコンビの演奏で、ギターソロ、

クエンカ兄弟によるデュオ、さらに高木洋子さんのピアノが加ってのトリオ演奏も楽しみました。高木さんのピアノソロでは F タレガー、M ブルグスの曲、アルベニスの曲の演奏を聴きました。同じ著名な作曲家の曲でも演奏家によって解釈や表現が随分と異なるところが面白いと感じました。フィナーレは日本で良く知られているアランフェス協奏曲第2楽章をフランシスコ・クエンカ（G）と高木洋子（P）の素晴らしいデュオ演奏で終わりました。(山崎宗城)



神奈川県押し花芸術展

5月26日～29日大船の鎌倉芸術館回廊に於いて、賛助会員フレアの主催する第6回神奈川県押し花芸術展が開催されました。出展数248点です。押し花作品展は昨年も見学しましたが、今年はさらに出展者の技量も向上して楽しいものです。横浜スペイン協会も後援者の一つです。横浜スペイン協会から生花を入り口に出しました。横浜スペイン賞として富永美咲さんの作品を選ばせていただきました。



小原京子さん 翻訳本「アウシュビッツの図書係」



小原京子さんは、以前スペイン大使館に勤務されていて横浜スペイン協会として、大変お世話になりました。その後大使館の方と結婚されマドリードに在住していますが、昨年9月のレオン県桜植樹の時には、ワイナリーの Canedo まで御主人と来てくださり、一緒に桜植樹に参加されました。その晩は Palacio de Canedo に宿泊されました。

その小原さんの文学翻訳本が日本で7月5日に集英社から発売になります。スペイン人作家 アントニオ・G・イトウルベの小説『アウシュヴィッツの図書係』アウシュヴィッツの中にあった小さな秘密図書館の図書係をした14歳の女の子の実話を基にした小説です。戦争の悲惨さだけでなく、読書のすばらしさを伝えるとても良い小説です。

❀ 25周年記念植樹に訪れたレオンからの桜便りです ❀



レオン県 Priaranza del Bierzo の José Manuel Blanco Gómez 市長から、満開の桜の写真が送られてきました。細い枝をしならせてたっぷりと力強く咲いていますね！

【訃報】

当協会の顧問である、林屋永吉 元駐スペイン日本大使が5月18日に永眠されました。(享年96歳)

ここにご生前のご厚情に深く感謝するとともに、故人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

*お写真は、昨年4月「ロンダに咲いた桜」にお越し頂いた際、奥様と桜田ゆみさんと



******* 協会のお知らせ *******

5月初めより、協会の預金管理口座が、郵便局からみずほ銀行に変更になりました。お手数料をおかけしますが、今後、年会費等の振込につきましては下記、新口座への振込をお願い致します。

[振込口座]

みずほ銀行鶴見支店

店番号:362 普通口座 : 2518340

口座名義:横浜スペイン協会 (振込手数料は振込される方にてご負担お願い致します)

※ 協会住所を変更しました (新住所) 神奈川県横浜市鶴見区岸谷 2-18-4

横浜スペイン協会のホームページにてスペイン語クラス、各種イベント情報等ご案内しています。会員の皆様、どうぞ一度ご覧になって下さい。

ホームページアドレス : <http://www.yokohama-spain.jp/>

横浜スペイン協会 会員募集中です!

[主な活動]

スペインでの植樹、スペイン語教室主催 (8クラス)、スペイン・サロン (文化講座、会員によるコンサート、料理教室、ワイン、チーズ講座等)、スペインサークル (スペイン語でボランティア、旅でスペインを識る会、折り紙他)、会報 (AIYES 通信年 4 回発行)、新春懇親会、総会

[特典]

協賛会員レストランでのドリンクサービス等

[入会金] 2000 円 [年会費] 3000 円

詳細は、当協会ホームページ <http://www.yokohama-spain.jp/> 「入会について」をご参照下さい。

******* 新会員紹介 *******

田邊 隆 (Takashi Tanabe) 東京都品川区在住 2016 年 4 月入会

スペインについては、正直縁はありませんでしたが、昔一度スペインに出かけたら病み付きになり休暇は必ずスペインという同僚が何人かいまして、そこまで魅了されるのはどうしてだろうと興味を持っていました。スペイン通の皆さんからは是非その魅力を教わりたく今回入会を希望しました。どうぞよろしくお願ひします。

中村 隆二 (Ryuji Nakamura) 横浜市港北区在住 2016年5月入会

今春米大統領のスーパーチューズデー(3月1日)を挟んでNYに短期滞在、米国にスペイン語の世界が大きく広がりつつあることを実感しました。夫婦で行った年初のスペイン旅行も楽しい思い出です。4月に山田先生のセレンソクラスに参加させていただきました。どうぞ宜しくお願いします。

佐瀬 美紀子 (Mikiko Sase) 東京都目黒区在住 2016年6月入会

下山綾子さんのご縁を頂きまして協会の活動の様子やスペイン大使館でのピアノコンサート、チーズ講座などとても楽しく参加させて頂きました。スペイン国の様に明るく陽気で情熱的な会員の皆様の生き生きとしたお姿を拝見し、私も一緒に数々のスペインの良さに触れて楽しみたいと入会を希望しました。ヨーロッパ発祥のアロマテラピーを趣味程度にかじっていますが、なにより自分の生き生き生活のためにワインや食を楽しみ又フラメンコなどもやってみたいなあと思います。昔は同じフラでもフラダンスをしていました。

小出 あゆ子 (Ayuko Koide) 山梨県北斗市在住 2016年6月入会

動機：好き！(料理・文化・アート・観光) 最初のBFもスペイン人でした！
やってみたい事：久しぶりに、行きたい！



<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ目黒店	東京都品川区上大崎2-16-3	03-5420-5328	サングリア1杯無料
アトリエ フレア Atlier Flair	鎌倉市大船2-17-8 中島ビル3F	0467-42-8531	押し花体験費用割引
スペインバル ボデガ・デ・サリア	東京都港区台場2-2-1 ザ・クルーズ・ダイアネックスホール1F	03-5531-2151	生ビール一杯無料

<編集後記> 昨年の創立25周年記念号Vol1~3の後、今号のコンテンツが貧弱になるかと心配しましたが、盛りだくさんの記事が載せることが出来ました。恐るべし横スペ会員パワー！引き続き、皆様からの寄稿、宜しくお願い致します。(広報委員 A.S)

編集委員 白井慎一 古賀恵子 下山綾子 下山利明 武菱邦夫 服部君江 福長昭代

*投稿寄稿宛先 横浜スペイン協会 E-mail : info@yokohama-spain.jp
ホームページ : http://www.yokohama-spain.jp/

次回の原稿締切は
10月15日(土)です